

令和8年度 加茂名小学校 学校経営方針

皆さん、おはようございます。新学期も3日目となりました。新しく転入された教職員の皆様、加茂名小学校の雰囲気はいかがでしょうか。校長はどうですか。

さて、本年度がスタートするにあたりまして、わたしの学校経営方針を2点お伝えします。昨年度と重なるところもございます。

まず、学校経営方針の大前提として、教職員の「働き方改革」を推進していくことは言うまでもございません。加えて、「働きがいと働きやすさ改革」を皆さんと共有できればと考えています。「働きがいと働きやすさ改革」とは、教職員がやりがいをもって働ける環境をつくることです。働きがいのある職場になることで教職員のモチベーションが上がり、働きやすさの向上につながります。

※ 時間外勤務の削減 と 子どもたちと向き合う時間の確保
出勤と退庁時刻の変更を視野に入れ、休憩時間を意識した働き方
そのために、正確な授業時数をカウント

今年度は、体育の教育課程実践検証協力校事業と第2回徳島県人権教育主事研修会があり、本校が中部ブロックの会場校となります。まずは、この二つに向けて研究と実践を行いたいと考えています。「加茂名ならではの」の体育科の実践と人権教育、人権学習を公開したいと考えています。

しかしながら、「何のための研究・実践なのか」を念頭に、決して打ち上げ花火的な取組とならないよう、ふだんの授業実践や取組を重視し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善、健やかな体の育成、子どもたちの人権意識を高めていく、つまり、いじめのない学校づくり、友達を大切にすること、自己肯定感を高めていくことが重要です。

これは、会場校であろうがなかろうが、取り組むべきことです。地に足をつけた取組、これまでしたことを、「アップデート」していきましょう。

今年の学校運営のテーマは、「安全で安心な学校づくり、安定した学校運営、緊張感をもって臨む、そして一体感をもって最新化」とします。昨年度から「一体感をもって最新化」が加わりました。

「安定」の具体として、教室から特別教室までの行き帰りを並んで行くことと、子どもたちが、その場に適した言葉をつかう。つまり、言語環境を整えていきましょう。人なつっこい「かもなっ子」らしさも大事ですが、適切な場所で丁寧な言葉をつかうことも大事です。

「緊張感をもって」とは、職場の一人一人が責任感をもって仕事をするということです。適度に緊張感がある場合は、自分の能力を大いに発揮することができます。和気あいあいとした雰囲気はいいですが、仕事でもその雰囲気ていくとただの仲よしクラブです。こうした馴れ合いの関係の職場は、生産性も上がりません。

「一体感をもって最新化」とは、次期学習指導要領の改訂を注視しつつ、授業時数について点検した上で、令和8年度の教育課程の編成に臨んでいきます。それと、「iPad」の積極的な活用です。

まず、1点目は、人権尊重の精神を基盤に据え、「子どもたちがこの学校にいてよかったと思える教育と、家庭・地域から安心して学校に任せられる教育」を実現していきます。

そのためには、子どもたち一人一人を大切にす教育の実現を目指します。一人一人を大切にす教育とは、子どもたちが、「この学校にいてよかった、明日も学校に行きたい」という意識を実感させることだと考えます。

わたしは常に「子ども目線」、「保護者目線」、「地域目線」、そして、わたしたち教職員の使命感・誇りと「働き方改革と働きがいと働きやすさ改革」の両方を意識した「教員・職員目線」で教育活動を見直し、「よく分かる授業づくり」、「子どもとの信頼関係の構築」、「いじ

め・不登校ゼロ」を実現するとともに、

全校朝会等での子どもたちを引きつける講話やメッセージ性の強い「校長室だより」の発行、ホームページの更新により、子どもはもとより家庭・地域から信頼される学校づくりを推進していきます。

2点目は、指導力の高い教職員集団の育成していきます。

信頼される学校づくりのためには、教職員の意識と団結力、そして何より指導力の向上が欠かせません。そこで、「主体的・対話的で深い学び」による授業づくりやユニバーサルデザインの視点に立った学習環境づくりに力点を置いた研修を充実させていきます。

また、先生方には、授業力向上のみならず、生徒指導・保護者対応、コンプライアンス・危機管理意識の向上に努めていきます。

さらに、教職員一人一人のよさを引き出し、力を伸ばすための支援を行うことで、全教職員が学校運営に積極的に参画し、学校改善や課題解決への貢献を実感できるようにしていきます。

しかしながら、わたしは指導力の向上のために、これ以上の研修や教育活動を増やすつもりはございません。先生方に心身ともに余裕をもっていただき、子どもたちへの指導に専念できる時間を確保していただきたいと考えています。

では、どうするのか。

本校の目標設定は、「先手を打つ」。子どもたちと向き合う時間を増やすためには、生徒指導事案を減らす必要があると思います。後手後手に回り、防戦一方とならないようにしていく。

そのために、子どもたちを叱る、褒める、認める、4月8日の始業式、9日の入学式からの3週間、いや3日が勝負だと思えます。多くの子どもたちは新学期、進級に、入学に胸を膨らませています。「先生は、みんなと一緒に授業をしたかった。加茂名小に赴任して喜んでいる。うれしい。」というメッセージを子どもに保護者に地域に発信していく。先手を打つ、先手必勝、この時期をみすみす逃すことなく、指導をお願いいたします。

そうすることで、結果として「家庭・地域から安心して学校に任せられる教育」、「笑顔あふれる学校」につながっていくと思います。

以上、2点申しましたが、今年度一年間、皆さんが明るく、元気に、笑顔で仕事ができるようにがんばっていきましょう。わたしの今年度のテーマは、昨年度に引き続き、「健康が一番」です。子どもたちや教職員の心身の「健康」が、学校経営の基盤であることを痛感しています。

学校（子どもたちも教職員も）が、幸せで笑顔いっぱい、誰もが安心して学び（働き）、自分の力を伸び伸びと発揮することができる場所であってほしい。

そして、学校（子どもたちも教職員も）の「多面的で持続的な幸せ」「ウェルビーイング」を実現することで、学校が抱える様々な課題を少しでも改善の方向へ導き、教職の本当の魅力を「再現」したいと考えています。10年後の学校、自分（教師と子どもたち）を見据えた取組を進めてまいります。

わたくしごとですが、今年で61歳。63歳まではどこかの学校で働きますが、加茂名小もおそらく最後となります。そのゴールに向かってわたしは守りに入りません。ラストスパート、全力疾走でゴールテープを切ります。今年は、校長会の出張も少なくなり、学校で子どもたちの様子を見たり、教職員の方と話したりする機会が増えると思いますので、皆様としっかりコミュニケーションをとりたいと思います。よろしく願いいたします。

わたしからは以上です。